

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 656 号	氏名	Mbanefo Evaristus Chibunna
学位審査委員	主 査	濱野 真二郎	
	副 査	吉浦 孝一郎	
	副 査	由井 克之	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、日本住血吸虫症の新規ワクチン候補抗原探索の過程で見出した SEA (Sea-urchin sperm protein, Enterokinase and Agrin) ドメインを有するタンパクについて、その生物学的特性を解明しようとしたものであり目的は妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 シグナルトラップ法により以前同定した日本住血吸虫由来タンパクについて 3次元構造相似性に基づき解析した結果、いずれも SEA ドメインを有する類似タンパクであることを見いだした。その中から 3種類を選んで組換えタンパクを作成し、表面プラズモン共鳴と糖鎖アレイにより糖鎖結合能を解析し、またヘミン-アガロース結合試験、ヘム依存性ペルオキシダーゼ活性、UV 至適吸光波長によりヘム結合能を確認した。また、マウスに免疫して得られた抗血清またはモノクローナル抗体を用いて、虫体や虫卵での分子の発現・局在を解明するなど研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、日本住血吸虫に発現する SEA ドメインを有するタンパクは、糖鎖結合能とヘム結合能を有し、寄生現象に重要な役割を果たしている可能性が示唆された。今後、住血吸虫に対するワクチンの候補分子あるいは薬剤のターゲットとして更なる研究の進展が期待される。</p> <p>以上のように、本論文は日本住血吸虫に対するワクチンや薬剤の開発研究に貢献するものであり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			